

報道関係者各位

平成 30 年 7 月 13 日  
株式会社ブロードバンドタワー

**ブロードバンドタワーを含む共同研究開発チーム、  
総務省 電波資源拡大のための研究開発に採択される  
～ノーベル賞受賞の名古屋大学天野浩研究チームと共に 5G イノベーションに向けて～**

株式会社ブロードバンドタワー(本社:東京都千代田区、代表取締役会長兼社長 CEO:藤原洋、以下「ブロードバンドタワー」又は「当社」コード番号:3776 ジャスダック)を代表研究機関とし、パナソニックセミコンダクターソリューションズ株式会社、日本電信電話株式会社、国立大学法人東京工業大学、国立研究開発法人情報通信研究機構、国立大学法人名古屋大学、国立大学法人東京大学、国立大学法人名古屋工業大学からなる研究開発チームの共同提案が、平成 30 年 6 月 20 日付の総務省からの報道発表「平成 30 年度における電波資源拡大のための研究開発に係る提案公募の結果」のとおり採択されました。

電波資源拡大のための研究開発は、総務省が新たな電波利用ニーズ拡大に対応するため、周波数のひっ迫状況を緩和し、電波の有効利用を目的として実施されており、今年度は 6 件の研究開発課題が公募されました。その中で、当社を含む共同研究開発チームは「5G の普及・展開のための基盤技術に関する研究開発」を研究開発課題とし、基地局の低消費電力化・小型化を実現するミリ波帯基地局構成技術確立するという技術課題に取り組みます。

次世代通信技術である 5G は 2020 年から本格的に普及・展開が始まるとされていますが、その 5G 基地局は利用形態とその周波数の特性を考慮した基地局の配置と性能確保が必要となります。

それを実現するために、一定のカバレッジ実現のための基地局高出力化及び稠密かつ柔軟な基地局配置を可能にする基地局小型軽量化、低消費電力化が技術課題となります。そこで本共同研究開発チームでは、基地局の主要構成要素であるアンプの「高出力化・高効率化、優れた量産手法の確立」につながる、デバイス技術、回路技術、実装技術等の包括的開発が解決手法として有効と考え、本研究開発に取り組みます。

本研究開発において有力な手段と考える GaN(窒化ガリウム)の研究開発では世界的な知見を有する名古屋大学天野浩教授(青色 LED に要する高品質の結晶創製技術の発明に世界で初めて成功し赤崎勇氏(名城大学大学院理工学研究科終身教授)、中村修二氏(米カリフォルニア大学サンタバーバラ校教授)と共に 2014 年のノーベル物理学賞を受賞)の研究開発チームと共に 5G イノベーションに取り組みます。

以上

## ■ ブロードバンドタワーについて

会社名：株式会社ブロードバンドタワー

所在地：〒100-0011 東京都千代田区内幸町二丁目 1 番 6 号 日比谷パークフロント

代表者：代表取締役会長兼社長 CEO 藤原 洋

設 立：2000 年(平成 12 年)2 月 9 日

U R L: <http://www.bbtower.co.jp/>

ブロードバンドタワーは、高度な運用技術と信頼性の高いハウジングサービス、インターネット接続サービス、およびクラウドサービスを提供しております。アクセスの良い都心にインターネットデータセンターをはじめとしたネットワークインフラストラクチャー資産を有し、インターネットサービス提供企業をはじめとした、多数の企業から高い信頼を得ております。また Dell EMC アイシロン スケールアウト NAS 等のビッグデータ対応ソリューションのご提供、企業 PR を支援するインターネット配信のネットシネマを手掛けております。

※記載されている会社名および商品名は、それぞれ各社の商標および登録商標であります。

## ■報道関係お問い合わせ先

株式会社ブロードバンドタワー マーケティング統括グループ 飯尾 佑希子

電話:03-5202-4810 FAX:03-5510-3431

E-mail: [pr-ir@bbtower.co.jp](mailto:pr-ir@bbtower.co.jp)

<http://www.bbtower.co.jp/>